



各位

平成22年10月27日

会社名 フジオゼックス株式会社  
 代表者 代表取締役社長 吉川 健三  
 (コード番号 7299 東証第2部)  
 問合せ先 常務取締役 服部 孝樹  
 (TEL 0537-35-5873)  
 当社の親会社 大同特殊鋼株式会社  
 代表者 代表取締役社長 嶋尾 正  
 (コード番号 5471 東証第1部、名証1部)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年7月27日に公表いたしました平成23年3月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成23年3月期第2四半期連結累計期間 連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,700	750	850	450	21.90
<b>今回発表予想(B)</b>	<b>8,027</b>	<b>979</b>	<b>1,074</b>	<b>662</b>	<b>32.24</b>
増減額(B-A)	327	229	224	212	
増減率(%)	4.2	30.5	26.4	47.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 平成22年3月期第2四半期	6,251	96	128	22	1.08

平成23年3月期通期 連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,700	1,200	1,400	730	35.53
<b>今回発表予想(B)</b>	<b>15,000</b>	<b>1,400</b>	<b>1,600</b>	<b>800</b>	<b>38.93</b>
増減額(B-A)	300	200	200	70	
増減率(%)	2.0	16.7	14.3	9.6	
(ご参考)前期実績 平成22年3月期	13,597	746	874	489	23.78

平成23年3月期第2四半期累計期間 個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,200	650	750	360	17.52
<b>今回発表予想(B)</b>	<b>7,523</b>	<b>800</b>	<b>920</b>	<b>580</b>	<b>28.20</b>
増減額(B-A)	323	150	170	220	
増減率(%)	4.5	23.1	22.7	61.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 平成22年3月期第2四半期	5,742	△ 23	146	85	4.14

平成23年3月期通期 個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,900	1,000	1,200	630	30.66
<b>今回発表予想(B)</b>	<b>14,200</b>	<b>1,150</b>	<b>1,350</b>	<b>650</b>	<b>31.63</b>
増減額(B-A)	300	150	150	20	
増減率(%)	2.2	15.0	12.5	3.2	
(ご参考)前期実績 平成22年3月期	12,630	503	812	479	23.31

## 修正の理由

### (1) 第2四半期累計期間業績予想について

当第2四半期連結会計期間における経済情勢は、アジア経済では、中国、インドを中心とし依然高い成長率となっており、日本についても、政府の経済政策効果もあり、穏やかな回復基調となりました。一方、米国経済は、景気回復の基調にあるもののペースは低調に推移いたしました。

そのようななかで、わが国の自動車業界におきましては、エコカー減税や補助金といった緊急経済対策が一定の効果をあげ、生産台数も増加いたしました。

その結果、売上高は当初の想定を上回る見込みであり、収支面においても変動費、固定費の徹底した経費削減活動の継続により収益が確保できる見通しであるため連結、個別共に売上高、営業利益、経常利益、当期純利益をそれぞれ上方修正いたします。

### (2) 通期業績予想について

第2四半期以降につきましては補助金制度打切り影響による自動車販売台数減少の懸念、及び足元の急激な円高影響等により、先行き不透明ではありますが当初の想定どおり推移するものと予想し、通期の業績予想についても 連結、個別共に売上高、営業利益、経常利益、当期純利益をそれぞれ上方修正いたします。

なお、上記の業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の実績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上